

令和3年度第1回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 会議結果概要

日 時	令和3年 8 月 19 日(木)18 時 00 分 から 19 時 00 分まで
開催場所	オンライン会議(Microsoft Teams)
出席者	<p>[推進委員会委員(名簿順)]</p> <p>○10 名出席</p> <p>岸川委員(委員長)、湯浅委員、氏家委員、國分委員、笠間委員、 竹田委員、大川委員、太田委員、大津委員、橋本委員</p> <p>[鎌倉市障害者福祉計画推進会議 幹事委員]</p> <p>○5名出席</p> <p>[事務局]</p> <p>○5名出席</p> <p>以上、20 名出席</p> <p>「鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 委員名簿」を参照</p> <p>[傍聴者]</p> <p>なし</p>
配布資料	<p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none">・鎌倉市障害者福祉計画推進委員会委員名簿・令和3年度第1回鎌倉市障害者福祉計画推進会議 論点概要・令和2年度第4回障害者福祉計画推進委員会 会議結果概要 <p>(資料1)令和2年度(2020 年度)障害者福祉計画推進状況報告書(案)</p>

<p>会議概要</p>	<p>1 令和2年度障害者福祉計画推進状況報告書(案)について</p> <p>事務局より、令和2年度障害者福祉計画推進状況報告書(案)について、資料1に基づき説明。</p> <p>(委員からの意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (委員)2つある。報告書は第5期サービス計画の最終年度にあたるため、総括がないといけない。また、障害者基本計画は中間時点になるため、中間時点の総括をしなければならない。総括をした上で第6期サービス計画にどういう形で反映させたのかというステップを踏まないといけない。ただ前後しているため、繋ぎを報告書の中で書いておかなければならない。障害者計画と推進状況報告書はそれぞれ独立している訳ではないので、どこが反映され、どう総括するかという継続性を持たせなければならない。2点目は地域生活支援拠点整備について。障害者支援協議会で議論されていると言っているが、これは理事会による決定事項だ。早急に進めるのであれば、面的整備をすることを決めた市が仕様書を作り、公募形式、手上げ方式とすればよい。決定は理事会がする。もうひとつの方法は、面的整備の中で要求されるもので事業所として何が出来るか、市が各事業所の理事長に対して問いかけをして事業所の総意として返事をもらうことだ。仮に出来ないとなれば、支援協議会でいくら議論しても意味がない。 ・ (委員長)推進状況報告書の総括について、事務局の方から回答などがあればお伺いしたい。 ・ (事務局)まず1点目、どういう形でサービス計画を今年度からの計画に繋いでいるかといった書き方に関するご質問について、報告書の55ページ第4章 第5期鎌倉市障害福祉サービス計画のページに第5期鎌倉市障害福祉サービス計画で定めた成果目標とその実績について記載している。今までは課題に対する本市の成果目標と現状という形で記載していたが、今年度は最後の評価年のため、例えば55ページから56ページにかけての(1)福祉施設の入居者の地域生活への移行という目標については、ア課題、イ本市の成果目標、ウ実績としている。これまでは「現状」と記載していたところ、今回は「実績」としている。昨年度策定した第6期鎌倉市障害福祉サービス計画にこれまでの目標の達成状況などを踏まえて新しい成果目標を記載した。新たな項目も2つ追加した。成果目標の中にも達成しているものと、まだ一つ及んでいないものがあり、引続き取組を進めていく。2点目の地域生活支援拠点面的整備にあたっては、事業所の公募や、決定権のある方へのお話、お願いが必要ではないかというご意見に関して、鎌倉市障害者支援協議会に出席いただいている委員の皆さまに様々なご意見を頂いていると共に、特に昨年度から設置している地域生活支援検討部会で様々な議論を重ねている。具体的に今年度、来年度は特に緊急時の受入や対応を優先して取組むべきという話になっているので、そちらを中心に進めていきたい。その中で事業所の皆さまのご協力は不可欠だと考えている。お願いや、市がやりたい事のイメージ図を今後皆さんに示していきたい。 ・ (委員)時間がなかったので今の回答に対してさらに質問はしない。後でメールなどをする。 ・ (委員長)この時間で発言しきれなかったことや、意見詳細については後程事務局の方から説明があると思うが、メール、FAXなどで受付したいと考えている。短時間で読みこんでの質問は難しいと思うが、お気づきの点があれば後で伺いたい。今ご意見があったように、福祉計画を行政として取りまとめているが、社会福祉法人や民間のNPO法人、当事者団体との共同作業という事があると思う。協議会でも地域生活支援拠点の整備などについては色々議論がされていると思うので、協議しながら出来る部分を集約し、計画にも反映することが望ましいと実感している。令和2年度推進状況報告書については、今日配布いただいた資料1をベースに、皆さんのご意見などを反映してまとめていきたいと考えている。
-------------	---

会議概要 (続き)	<p>(事務局)令和2年度推進状況報告書については、いただいたご意見を反映させて今後修正を行っていく。また委員長と協議のうえ、内容を最終的に決定し、発行することをご了承いただきたい。発行後は、ホームページで公開し、委員の皆さまへ確定版を送付する予定だ。説明が長くなってしまい、時間制約上、議論頂く時間が取れずに大変申し訳なく思っているが、本日お話がいただけなかった部分は8月31日までに事務局にメール、電話、FAXをいただきたい。次回第2回推進委員会の開催は年度末の2月、3月頃を予定している。開催日時は決定次第お知らせする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--------------	--